

SGHD・中間、宅配好調で営業益23.7%増

Edited By LogisticsToday On 2017/10/27

SGホールディングスが27日に発表した2018年3月期の中間決算は、佐川急便を核としたデリバリー（宅配）事業で単価・取扱個数をともに伸ばしたことなどを背景に、売上高が5%増（前年同期比）の4814億円、営業利益が23.7%増の289億円となり、売上高に対する営業利益率が前年同期の5.1%から6%へと拡大した。

主要部門ごとの売り上げは、デリバリー事業が3830億円で216億円増加。ロジスティクス事業は22億円増の566億円、不動産事業は31億円減の78億円、その他の事業が23億円増の339億円となった。

主力のデリバリー事業は適正運賃收受の取り組みを継続し、電報類似サービス（特定信書便）事業を手がけるヒューモニーの子会社化やセティング事業の好調に伴う増加で売上を拡大。輸送品質管理コストの増加があったものの、増収効果で部門利益は44億円増の222億円を稼ぎ出した。

ロジスティクス事業は越境ECの拡大や自社の海外事業の取り扱い増加を受けて増収増益、不動産事業は流動化規模の縮小で減収となったが利益は14億円増の40億円とした。

通期は売上高1兆円（前期比7.5%増）、営業利益580億円（17.2%増）、最終利益330億円（16%増）を見込む。

■2018年3月期第2四半期決算

	累計（億円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	4,814	5.0%	
営業利益	289	23.7%	6.0%
経常利益	293	28.0%	6.1%
当期利益	166	33.2%	3.4%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/302736>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.